

京畿道高校生訪問団受入事業 実施結果報告書



受入期間：令和元年7月10日（水） - 15日（月）

愛知県政策企画局国際課

報告書目次

1	京畿道高校生訪問団一行名簿	1
2	全体行程	2
3	行程の詳細	
(1)	第1日目(7月10日(水))	3
	来日	
	トヨタ工場・トヨタ会館訪問	
	オリエンテーション	
	夕食歓迎会(アイリス愛知)	
(2)	第2日目(7月11日(木))	5
	愛知県知事表敬訪問	
	名古屋城見学	
	名古屋大学訪問	
	ショッピング	
(3)	第3日目(7月12日(金))	7
	杏和高校訪問	
(4)	第4日目(7月13日(土))	10
	高校生との交流・昼食会	
	ホームステイ	
(5)	第5日目(7月14日(日))	12
	ホームステイ	
(6)	第6日目(7月15日(月))	12
	帰国	

1 京畿道高校生訪問団一行名簿

◆ 高校生(15名)

名前	読み方	所属	性別
김민	キム・ミン	松峴高校 2年	女
김민영	キム・ミニョン	松峴高校 2年	女
황희원	ファン・ヒウオン	松峴高校 2年	女
김지원	キム・ジウオン	松峴高校 2年	女
박서영	パク・ソヨン	松峴高校 2年	女
이예나	イ・イエナ	松峴高校 2年	女
이예림	イ・イエリム	松峴高校 2年	女
방성민	パン・ソンミン	松峴高校 2年	女
김다희	キム・タヒ	松峴高校 2年	女
문지은	ムン・チウン	松峴高校 2年	女
정소영	チョン・ソヨン	松峴高校 2年	女
조지현	チョ・ジヒョン	松峴高校 2年	女
박준규	パク・チュンギュ	松峴高校 2年	男
홍은기	ホン・ウンギ	松峴高校 2年	男
정진우	チョン・チヌ	三一工業高校 3年 (京畿道次世代委員)	男

◆ 随行者(4名)

名前	読み方	所属	性別
박성욱	パク・ソンオク	京畿道青少年課青少年政策チーム長	男
장천호	チャン・チョノ	京畿道青少年課 主務官	女
남지훈	ナム・ジフン	京畿道青少年修練院 担当	男
전애경	チョン・エギョン	松峴高校 教諭	女

2 全体行程

日付	時間	行程
7/10 (水)	12:30 14:00-16:10 17:00-18:00 18:00-20:00	中部国際空港着 (KE741) トヨタ工場・トヨタ会館訪問 オリエンテーション (アイリス愛知) 歓迎夕食会 (アイリス愛知) ＜宿泊：アイリス愛知＞
7/11 (木)	09:30-09:50 10:30-11:30 12:00-13:00 13:30-15:30 16:00-18:00 18:00-19:00	知事表敬訪問 県内視察 (名古屋城) 名古屋大学訪問 昼食 (名古屋大学レストラン花の木) ショッピング (イオンモールナゴヤドーム前) 夕食 (柿安 三尺三寸) ＜宿泊：アイリス愛知＞
7/12 (金)	10:00-16:30 17:30-18:30	杏和高等学校訪問 授業体験、生徒と昼食、交流会 夕食 (しら河名駅店) ＜宿泊：アイリス愛知＞
7/13 (土)	10:00-12:00 12:00-13:30 13:30-14:00	県内高校生との英語でのディスカッション (アイリス愛知) 昼食交流会 (アイリス愛知) ホストファミリーと合流、ホームステイ先へ移動 ＜宿泊：ホストファミリー宅＞
7/14 (日)	終日	ホームステイ ＜宿泊：ホストファミリー宅＞
7/15 (月)	10:00 13:40	アイリス愛知へ集合、空港へ出発 中部国際空港発 (KE472)

3 行程の詳細

【第1日目 7月10日(水)】

- ◇ 12:30 KE741 便で中部国際空港着
オリエンテーション
- ◇ 13:15~14:00 トヨタ工場・トヨタ会館訪問
 - ・ 随員職員：南谷課長補佐、石井主任
 - ・ 使用言語：日本語、英語、韓国語（日韓通訳：高氏）
 - ・ 概要：トヨタ元町工場において、実際の製造工程を現場で見ながら、トヨタの生産方法を学んだ。また、トヨタ会館では、新型車両の展示や、事務改善などについての展示を自由に見学した。



トヨタ会館前で記念撮影

◇ 18:00~20:00 歓迎会

- 開催場所：アイリス愛知（コスモス）
- 県側出席者：近藤国際監、川村課長、柴田主幹、南谷課長補佐、石井主任、太田主事
- 使用言語：日本語、英語、韓国語（日韓通訳：高氏）
- 主な内容：近藤国際監あいさつ
朴団長あいさつ
歓談

【歓迎会の様子】



ようこそ愛知へ!

【第2日目 7月11日（木）】

◇ 9：30～9：50 知事表敬

- ・場 所：愛知県公館
- ・県側出席者：大村知事、野村局長、近藤国際監、川村課長、柴田主幹
- ・使用言語：日本語、韓国語（日韓通訳：高氏）
- ・主な内容：朴団長あいさつ（韓国語）
訪問団員自己紹介
知事あいさつ
懇談
記念写真撮影、記念品贈呈



京畿道の朴団長から、「この交流が韓日両国の青少年の模範的な姿となることを期待している」とのあいさつがありました。

知事からは、「今回の訪問で触れる愛知の魅力を周りの方々に伝えていただきたい。」との発言がありました。

◇ 10：30～11：30 名古屋城

- ・随員職員：石井主任、太田主事
- ・使用言語：日本語（名古屋城ガイドボランティアによる解説）、韓国語（日韓通訳：高氏）
- ・概要：愛知・名古屋のシンボリックな存在の名古屋城を見学。本丸御殿の解説と天守閣までの案内をガイドの方にしてもらいました。



◇ 13:30~15:30 名古屋大学

- 随員職員：石井主任、太田主事
- 使用言語：日本語、英語、韓国語（日韓通訳：高氏）
- 主な内容：大学説明（学位取得プログラム説明）
博物館見学
ノーベル賞展示室見学
図書館見学



【第3日目 7月12日(金)】

◇ 10:00~16:30 杏和高等学校

- 随員職員：石井主任、太田主事
- 使用言語：日本語、英語、韓国語（日韓通訳：高氏）
- 概要：10:00~10:30 オリエンテーション（校長挨拶、学校紹介、日程説明等）
10:40~11:25 交流授業（英語表現）（3限）
11:35~12:20 交流授業（栄養）（4限）
12:30~13:10 昼食
13:20~14:20 お茶会
14:30~15:20 交流会
15:30~16:20 部活動見学・体験

【永井校長あいさつ】



【オリエンテーション】



【交流授業（英語表現）】



【交流授業（栄養）】



【お茶会】



【交流会】



【部活動見学】



◆ 杏和高校での感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ 本当に楽しかったです！施設だけでなく、生徒の授業も見ることができました。日本の生徒の生活を理解する良い機会でした。
- ◇ とても楽しかったです。もう一度杏和高校を訪れたいです。
- ◇ プログラムの中で最も印象的で楽しかった活動でした。多くの友人を作ることができ幸せです。



日本の高校生とたくさん交流できました

杏和高校への学校訪問でした。

永井校長先生へのご挨拶ののち、英語の授業体験をしました。昼食会では、生徒同士で活発な意見交換を行いました。その後、マドレーヌの調理実習やお互いの国のダンスの披露など交流を深めることができました。来日後、初めての同世代との交流ということもあり、生徒には自然な笑顔が溢れ、積極的に交流する姿が見受けられました。

【第4日目 7月13日(土)】

◇ 10:00~12:00 県内高校生との英語でのディスカッション

- 随員職員：柴田主幹、石井主任、太田主事
- 使用言語：英語
- 概要：県内のイングリッシュハブスクール事業拠点校及び杏和高校の生徒27人とグループ別に英語での意見交換を行った。

【意見交換の様子】



【発表の様子】



◆ 英語でのディスカッションの感想（アンケートからの抜粋）

- ◇ 多くの日本の友人を作ることが出来たととても幸せです。皆さんそれぞれ異なった夢を持っていると知ることができました。
- ◇ 愛知県の高中生たちはとても英語が上手で、素晴らしいと思いました。生徒たちはとても良くしてくれて、たくさん写真を撮ったり話したりすることが出来ました。
- ◇ とても興味深い活動でした。コミュニケーションスキルを向上させる事が出来ました。

【交流会の様子】



英語での交流を楽しみました！

英語が得意な生徒ばかりなので、出会って間もなくコミュニケーションが図れ、とても良い雰囲気グループごとに意見交換を行うことができました。

予定していた時間があっという間に過ぎ、お互いに友達をたくさん作ることができ、とても充実したひとときを過ごせたようです。

- ◇ 13:30 ホストファミリーと合流
ホームステイへ

【第5日目 7月14日(日)】

- ◇ 終日 ホームステイ

ホームステイは、土曜日の午後から月曜日の朝まで2泊3日で行われました。
お出迎えの時は、皆、緊張気味で不安そうでしたが、それぞれのホストファミリーと一緒に、日本の文化や習慣、食べ物等に触れ、思い出深い体験をしてきたようです。
お見送りの時は、充実して満足そうな表情で集合場所に戻ってきて、大変有意義な交流が図られたことがうかがわれました。

【第6日目 7月15日(月)】

- ◇ 13:40 KE742便で中部国際空港発
- 見送り：南谷課長補佐、石井主任



皆さん、6日間のプログラムを終えて、充実した表情で帰国の途につきました。
多岐に渡る訪問先で様々な刺激を受けた生徒たちは、あらゆるものを吸収し、たくましくなったように見えました。きっと将来は愛知県と京畿道との交流の担い手として活躍してくれることでしょう。本国に帰ってからも、こちらの魅力を韓国の方々にしっかりと伝えていただければ嬉しいです。